**山口上関原子力発電所の視察を終えて**

**・上関原子力発電所について**

　　今から二十数年前に現中国電力が電力需要増を見込んで建設許可を取得。

　しかし地域住民の激しい反対にあい、いまだに工事は進んでおらず。最近になって世界的に珍しいカンムリウミスズミの生息が発見されたため、中国電力にも焦りが生じ、建設に強行着手しつつある。

　　この原子力発電所建設に際しての事前調査に不備があり、国からの許可はいったん取り消され今のところは許可がおりていない状況。

**・現場視察**

　　あいにくの台風の接近で祝島に渡れなかったことが非常に残念でした。

　現場についてまず思ったことは原発建設予定地は海と山が一体となって自然を形成していて今回の建設によって山は削られ、海は埋め立てられるということで様変わりしてしまうだろうと思いました。また、シオのいい香りがしました。また地元の方がつくってくれた地元の海産物を使ったお弁当をいただきました。絶品なんだよなこれがまた。特に貝類が。都会では絶対味わえないし人生において食べられてよかったと思っています。個人的にはこんなにおいしいものがとれるところがなくなるのは非常に残念です。

**・中国電力への飛び込み**

　　中国電力にてこの上関原子力発電所の説明を受けました。印象としてはこの原発建設をやめる気はさらさらない、むしろ意地でも建設してやるという気迫を感じました。オール電化や電気自動車で需要微増が見込まれるという説明でしたが、これから人口は減っていく一方で省エネ技術が進んでいる中、本当に必要なんでしょうか。ちなみにこの原発によって生じる温廃水を冷却するのに毎秒190立方メートルの海水が必要だとか。これには驚きましたね本当に。いくら海広しといえどもこれでは影響は相当なものでしょう。二酸化炭素を排出しなくて温暖化にやさしいとうたっているものの、温廃水の冷却にこれだけの水を使えば温暖化しそうです。

**・全体を通して**

　　地域住民、中国電力の両立場があって、非常に難しい問題ではある。ただあえて結論を出すとしたら建設中止でいいと思う。そちらの方が何事もなく済む。国もまだ一応建設許可を取り消しているのでもう許可をおろさなくてもいいだろう。

中国電力はまず、本当に需要計算はそれでいいのか、二十数年前とは万事が違う状況であるのでこれに固執する必要はないと思う。

賛成にまわっている住民もいるがその方々も安易な気持ちで賛成にまわっているのではないか。自然は壊すのは簡単だし、お金では買えない価値がある。そこらへんの勉強不足は否めないと思います。

　　この視察ついでに広島の原爆資料館を訪れたこともあって、もし何かあったときはどうなるのだろうか。まず、祝島の人は避難の際、古い橋一本しか頼るところがない。原爆資料館で見た悪夢が繰り返される可能性もある。そういうことも含めて特に広島、長崎はもっとこのことを取り上げて声をあげるべきだと思う。